

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公開番号】特開2011-183088(P2011-183088A)

【公開日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-038

【出願番号】特願2010-54082(P2010-54082)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 0 B

A 6 1 B 6/03 3 6 0 T

A 6 1 B 5/05 3 8 2

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月18日(2013.2.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体内部の投影データを取得する計測手段と、該被検体の心電情報を計測する心電計と、前記投影データに基づいて画像を生成する画像生成手段と、を備えた医用画像撮影装置であって、

所定パターンをなすデータ列を同期情報とし、各時相の心電情報に対して時系列に前記同期情報の各要素データを付加する同期情報付加手段と、

前記同期情報付加手段によって同期情報の各要素データが付加された心電情報を記憶する心電情報記憶手段と、

前記同期情報付加手段によって同期情報の各要素データが付加された心電情報と、同時に取得された前記投影データとを対応付け、前記心電情報とは別に記憶する投影データ記憶手段と、

を備えることを特徴とする医用画像撮影装置。

【請求項2】

前記同期情報のパターンは、

固定キー部分と識別番号との組み合わせからなるデータ列であることを特徴とする請求項1に記載の医用画像撮影装置。

【請求項3】

前記同期情報のパターンは、

各要素データがそれぞれパターン内の位置を識別可能なデータ列であることを特徴とする請求項1に記載の医用画像撮影装置。

【請求項4】

前記同期情報付加手段は、

前記計測手段による投影データのサンプリング間隔と、前記心電計による心電情報のサンプリング間隔とが同じ場合は、これらのサンプリング間隔と同じ時間間隔に前記同期情報の各要素データを各時相の心電情報に付加することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載の医用画像撮影装置。

【請求項 5】

前記同期情報付加手段は、

前記計測手段による投影データのサンプリング間隔と、前記心電計による心電情報のサンプリング間隔とが異なる場合は、これらのサンプリング間隔の公倍数となる時間は前記同期情報の同じ要素データを各時相の心電情報に付加することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載の医用画像撮影装置。

【請求項 6】

被検体内部の投影データを取得する計測手段と、該被検体の心電情報を計測する心電計と、前記投影データに基づいて画像を生成する画像生成手段と、を備えた医用画像撮影装置であって、

前記心電計から計測された心電情報を記憶する心電情報記憶手段と、

前記心電情報と、同時に取得された前記投影データとを対応付け、前記心電情報とは別に記憶する投影データ記憶手段と、

時系列で識別可能な複数の識別情報を同期情報とし、各時相の心電情報に各識別情報をそれぞれ付加するとともに、一部の時相の投影データに当該時相に対応する識別情報を付加する識別情報付加手段と、

を備えることを特徴とする医用画像撮影装置。